

# 体育科学習指導案

平成27年12月4日（金）

第5校時（14：00～14：45）

6年2組（男子19名、女子19名）

場所 体育館

指導者 松島博昭（邑楽町立長柄小学校）

## 本時の授業の視点

対戦相手が変わることを伝え、3対3の作戦練習を工夫させたことは、3対3のゲームの中でチームの特徴にあった作戦を生かすことに有効であったか。

## I 単元（題材・主題） ボール運動（タグラグビー）

### II 考察

#### 1 本単元にかかる児童の実態

実態を把握するためにアンケートと試しのゲーム（タグ鬼ごっこ）を分析し実態調査を行った。

##### 【関心・意欲・態度】

「運動は好きですか。」に対して、好きと答えた児童は35名。嫌いと答えた児童は3名いた。嫌いな理由は「上手にできないから。」「体力がないから。」「疲れるから」だった。「ボール運動は好きですか。」に対して、好きと答えた児童は、34名。嫌いと答えた児童は、4名いた。嫌いな理由は、「ボールが触れないから。」「うまくできないから」であった。苦手意識が強い児童は、「好き」と感じて取り組むことができないことがわかる。さらに、「作戦を考えることは好きですか。」に対して、「はい」が30名。「いいえ」が8名だった。「いいえ」の理由を聞くと、「作戦を考えても上手くいかないから」と答えた。

また、「体育の授業を一生懸命に取り組んでいますか」「ルールやマナーを守って取り組んでいますか。」に対して、38名全員が取り組んでいると答えた。苦手で好きではないが、体育の授業でルールやマナーを守って一生懸命に進んで取り組もうという姿勢があることがわかる。

「準備や片付けなどを進んで行っていますか。」に対して、31名が「はい」、7名が「いいえ」と答えた。いつも決まった児童が準備や片付けを行っている傾向がある。理由を聞くと、「やろうと思って誰かが先にやっているから」と答えた。

ボール運動に対して苦手意識を持っている児童や進んで準備や片付けができない児童に対しての指導の工夫が必要であると考える。

##### 【思考・判断】

「めあてや課題解決に向けて授業に取り組んでいるか」に対して「はい」が25名、「いいえ」が13名だった。毎時間、授業のめあてや自分の課題を明確にして授業に取り組んでいない児童が13名いることが明らかとなった。

「作戦を考えてゲームなどをしていますか。」に対して「はい」が29名、「いいえ」が9名だった。そして、「チームで考えた作戦がうまくいったことはありますか。」に対して「はい」が20名、「いいえ」が17名だった。このことから、作戦を考えているがうまくいった経験が少ない児童。最初から作戦を考えてゲームを行っていない児童がいることがわかる。

また、1学期に行ったリレーでの話し合いの様子を見ると、チームでの話し合いは活発に行うことができ、意見を出し合うことができるが、チームの特徴に合った作戦を立てることに課題があった。自分たちのチームの課題に気づかせることが必要であると考える。

作戦の立て方や作戦の実行の仕方を教え、成功する経験を味わせることが必要であると考える。

##### 【技能】

次ページに示した4月に行った新体力テストの結果をみると、全国平均、県平均から比較するとC、D判定が多く、決して体力が高いとは言えない実態である。また、男女別に見ると、女子の方が判定が高い児

仲間と協力して守ったりして得点を競うことができるを考える。また、友達と協力し合いながら練習を工夫したり、アドバイスしあったりするなど、互いに高めあいながら活動ができるようにしたいと考え、本単元を構想した。

### (1) 「つかむ」過程

#### ①構想

児童は、タグラグビーを初めて行う。タグベルトのつけ方、ルールを全く知らない。簡単なゲームを通して、タグをとるときには、大きな声で「タグ」と声を出すことや相手の体に触れてはいけないなどの1つ1つのルールを確認しながら進めていく。また、タグラグビーは、チームで協力して作戦を上手に活用しないと得点を取ったり守ったりできないことを映像を見せながら伝える。

最初の2時間を使って、タグラグビーが楽しいボール運動であることを体感させたい。全員が楽しめる簡単なゲームを行うことにより、タグラグビーに関心を持たせる。タグを取ったり取られたりすることの抵抗をなくすために、単元を通して毎時間タグ取り鬼ごっこを授業の冒頭で行い、タグラグビーで必要となる「タグをとる」「タグを取られないように逃げる」技能を身につけさせる。また、ボール操作の技能を向上させるために、円陣パスの練習をチームごとに行い基本的技能を身につけさせる。

チーム編成は、新体力テスト、事前アンケート、タグ取り鬼ごっこの結果からチーム力が均等となるように8チームを事前に決め、最初の授業で子供達に伝える。

#### 【チーム編成について】

チームは、1チーム4名～5名の男女混合で行う。タグの色が4色に分かれている。同じタグのチームは兄弟チームとなる。3対3のゲームの際は、兄弟チームの合計得点で勝敗を競う。

#### ②支援

- ・単元を通して個人の目標を明確にするために、自分の高めたい課題について、考えさせ発表させる。
- ・タグラグビーの試合をイメージできるようにするために、実際のタグラグビーの映像を見せる。
- ・安全にタグラグビーが行えるように、タグベルトのつけ方を例示し、正しくベルトを着用できるようにする。
- ・ラグビーボールの特徴について伝え、下投げで投げることを教える。
- ・タグの試合でタグを取ったことが相手に伝わるようにするために、タグを取った際には、大きな声で「タグ」と言うことを伝える。
- ・円陣パスで練習する際に、ボールの投げ方について考え方、回転させない方が受け取りやすいことに気づかせる。
- ・タグベルトのサイズ調整を毎回しなくとも済むように、毎回同じタグベルトを使うように指示する。
- ・ボールをうまく投げられない児童に対して、「お芋掘り」という言葉掛けをして、芋掘りのように投げることを伝える。
- ・タグやゼッケン、作戦ボードなどの準備が短時間でできるように、班ごとのファイルと袋を準備し、小分けにして保管しておく。
- ・練習やゲームでけがをしないように、ゼッケンのケースや道具などはステージの上に置くように指示する。
- ・責任をもって準備や片づけができるようにするために、チームごとに役割分担を決めるよう指示する。

### (2) 「追究する」前半

#### ①構想

「追究する」前半では、タグラグビーのルールが理解できるように工夫する。タグラグビーで児童がつまずくルールが、「オフサイド」と「スローフォワード」である。前にパスを出しちゃったりディフェンスで待ち伏せをしてしまったりする。歩きながらのゲームや少人数でのタスクゲームをしながらタグラグビーのルールが理解できるようにする。また、チームでの作戦を考えられるようにするために、個人の作戦や攻め方、守り方のヒントを例示する。

練習の場を工夫して設定することにより、全チームが一齊に練習が取り組めるようにする。

## ②支援

- ・金魚パスをすることにより、前の人にはパスするのではなく後ろの人にはパスすること習得させる。
- ・タグを取られずにゴールラインをこえれば得点になることを1対1のタスクゲームをすることにより伝える。
- ・8チームが一齊に練習できるようにするために、バスケットコートの半面に場作りをして練習させる。
- ・1対1でゴールしやすくするために、「カットイン」「スワープ」「チェンジオブペース」の動きを教える。
- ・2対2のタスクゲームをすることにより、スローフォワード、オフサイドのルールを教える。
- ・スローフォワードやオフサイドのルールを理解させるために、ファールのシーンを図で示したり実際にファールの場面を意図的に作り例示したりわかりやすく示す。
- ・2対2と3対3の違いについて話し合わせることにより、よりチームでの作戦が重要であることに気づかせる。
- ・3対3の作戦を立てやすくするために、作戦が例示された作戦ヒントカードを配布する。
- ・ボールを持ったら前に進むことを意識させるために、パスの回数を制限したタスクゲームにする。
- ・チームの課題を明らかにするために、誰がトライし、誰がボールを触ったのかの回数を記録するよう指示する。
- ・チームの課題を明確にすることにより、その課題から練習方法を考え、チームにあった練習をするように指示する。
- ・練習方法がわからないチームに対して、課題にあった練習方法を例示する。
- ・作戦を考えやすくするために、班ごとに作戦ボードを用意し、いつでも書き込めるようにする。

## (3) 「追究する」後半

### ①構想

「追究する」後半では、フルコートを使用した3対3を行いよりチームごとの作戦を考えてゲームができるようにする。ゲームをした後に振り返りを行い、毎時間チームのうまくいった点や課題を明らかにする。それを次の時間のゲームに活かせるよう協力して練習する。また、ゲームしていく中で、児童の実態等に応じて臨機応変にゲームのルールを追加していく。タグラグビーの規定されたルールでなく、実態に応じたルールを作ることにより、単元のねらいが達成できるようにする。

### ②支援

- ・運動量と触球数を多くするために、3対3のゲームにする。
- ・チームの特徴や作戦を考えやすくするために、チームカードを準備し、「ボールを持って走った数」と「トライした数」を記録する。
- ・ボール操作に慣れていない児童がいるのでボールを落としたら相手ボールにするのではなく、「1タグ」でゲームを再開するルールにする。
- ・ルールを児童が理解できるようにするために、子供達同士でセルフジャッジさせる。(教師は、ゲームを見ながら必要に応じて声かけをする。)
- ・作戦の話し合いをスムーズにするために、前時の課題をもとに作戦を考えてくるよう指示する。
- ・チームの課題を明確にすることにより、チームにあった練習をするように指示する。
- ・練習方法がわからないチームに対して、課題にあった練習方法を例示する。
- ・相手に応じた作戦を考えやすくするために、対戦相手は9時間目は同じ相手で行う。
- ・相手が変わっててもチームの特徴を考えた作戦を活用できるようにするために、10時間目に対戦相手を変えてゲームを行う。
- ・チームで考えた作戦がうまくいったかどうかを確認するために、話し合いの時間を作る。
- ・作戦がうまくいかないチームに対して、作戦の立て方や練習方法について助言する。
- ・チーム全員がボールを触ったり、ゴールきたりするために、4人以上トライできたチームはボーナス特典が入るようにする。
- ・児童の活躍の場を増やすために、トライすることとともにタグをとることも重要であることを伝える。

#### (4) 「まとめる」過程

##### ①構想

タグラグビー大会を行い、今まで習得してきた技能を発揮し、優勝目指して楽しくゲームに取り組む。ここでの試合形式も、3対3とし、全チームとの総当たりのリーグ戦で勝敗を決めることにより、子供達は意欲的に取り組む。タグラグビーが持つ特性を生かし、仲間と協力し大会をする活動を通して、喜びや楽しさを感じられるようにする。

##### ②支援

- ・子供達が意欲的に取り組むよう、長柄小カップという大会名をつける。
- ・勝敗にこだわりすぎて、ボールに触れない子が出ないように、試合記録は今まで通り書かせ、チームで振り返らせる。
- ・試合の中でよかったですを取り上げることにより、次の試合で活かせるようにする。
- ・これまでの学習を最大限に発揮しようという意欲を持ったり、仲間の活躍を喜んだり賞賛したりできるように、選手と観客、試合運営をするという役割を設定する。
- ・これまでの学習内容を出し切ろうとする意欲が持てるように、ゲームで個人やチームの良さ、作戦が生きた場面を取り上げ、賞賛の言葉掛けをする。
- ・運営の仕方やルールについての理解ができているか確認できるように、審判、得点、記録などの試合の運営を行う機会を設ける。

#### 4 教材の系統

4年	5年	6年	中学1・2年
<p><b>【目標】</b> みんなで楽しく協力しやすいゲームを行い、ルールを工夫し、ゴールする、パスがもらえるよう開いている場所に早く動くなどの簡単な動きができる。</p>	<p><b>【目標】</b> みんなで楽しく協力し、簡易化されたゲームを行い、ルールを工夫し、パスやシュートなどのボール操作やボールを受けるための動きによって、攻めたたり守ったりすることができる。</p>	<p><b>【目標】</b> みんなで楽しく協力し、簡易化されたゲームを行い、ルールやチームの特徴を生かした作戦や練習方法を工夫し、基本的技能を身につけ、攻めたり、守ったりすることができる。</p>	<p><b>【目標】</b> 基本的な技術や戦術を身につけ、チームの仲間と協力してチームに必要な作戦や練習を選んだり工夫したりして身についた動きをゲームで生かし、勝敗を競うことを楽しんだりする。</p>
<p><b>【学習内容】</b> ゲーム（ゴール型） (楽しいゲーム) 陣地を取り合って得点ゾーンに走り込み、工夫した動き方を加えて、みんなで攻めたり守ったりして陣地とりゲームなどを行う。</p>	<p><b>【学習内容】</b> ボール運動（ゴール型） タグラグビー タグを取られないように動いたり、空いているところに動いてバスをもらい攻めたり守ったりして、ルールを工夫して、タグラグビーなどを行う。</p>	<p><b>【学習内容】</b> ゲーム（ゴール型） タグラグビー タグを取られないように動いたり、空いているところに動いてバスをもらい攻めたり守ったりして、ルールを工夫したり、チームの特徴にあった作戦を生かしたりしてタグラグビーなどを行う。</p>	<p><b>【学習内容】</b> 球技（ゴール型） サッカー、バスケットボール、ハンドボール 空間に仲間と連携して走り込み、マークを交わしてゴール前での攻防を開拓できるようにプレイヤーの人数、コートの広さ、用具、プレイ上の制限を工夫したゲームを行う。</p>

#### III 単元の目標、IV 評価規準及び指導の計画概要（全12時間予定）は別紙資料

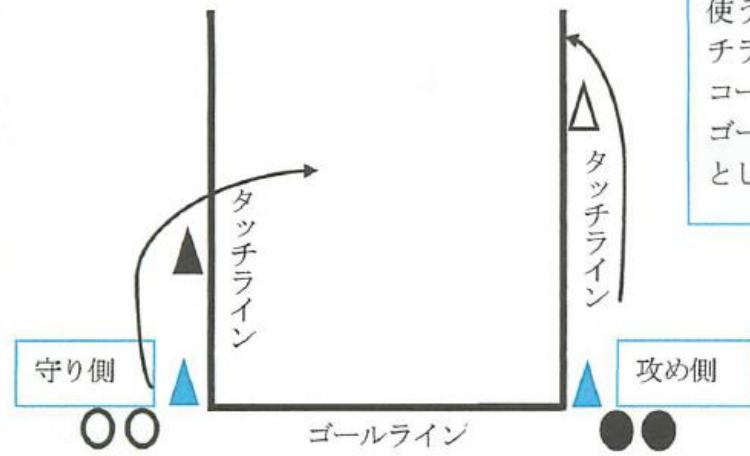
#### V 本時の展開（10／12）

- (1) ねらい
- (2) チームの特徴を生かした作戦や動きを工夫した練習を通して、3対3のゲームの中で生かせるようにする。
- (3) 準備  
タグ・ラグビーボール、タグ、腰ベルト、ゼッケン、ストップウォッチ、得点板、カラーボーン、学習カード、作戦板

(4) 展開

学習活動 ・予想する児童の意識	時間 (分)	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は、「努力を要する」状況の児童への支援)
<p>1 学習の準備をして、チームごとに準備運動を行う。</p> <p>（1）円陣パスを行う。</p> <p>・タグラグビーに合わせた準備運動を進んで行う。</p> <p>（2）基本の動きの運動を行う。</p> <p>・タグラグビーに使える動きを身につけよう。</p> <p>（3）タグ取り鬼ごっこを行う。</p> <p>・前回よりも多くのタグを取ろう。</p> <p>・タグを取られないように逃げよう。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習やゲームだけがをしないようにするために、作戦ボードや道具が安全な場所に置かれているか確認する。</li> <li>・各グループで進んで準備運動ができるようにするために、早く準備しているチームを賞賛する。</li> <li>・パスが成功するにはどのようなパスを出せばよいか、上手くいかない子に投げ方やとり方を助言する。</li> <li>・「カットイン」「スワープ」「チェンジオブペース」の動きを身に着けさせるために、準備運動をかねて練習するよう伝える。</li> <li>・相手にタグが取られたことを気づかせるために、タグを取った際には大きな声で「タグ」と言うように助言する。</li> <li>・タグを多く取ろうという意識を高めるために、何個タグを取ったのかを確認する。</li> <li>・怪我を防止するために、教師主導の体操を取り入れる。</li> <li>・怪我を防止するために、タグベルトをゼッケンの上からついているかを確認する。</li> </ul>
<p><b>本時のめあて</b></p> <p>対戦相手が変わっても、チームの特徴を生かした作戦を考えて練習し、ゲームの中で作戦を成功させよう。</p>		
<p>3 個人、二人組作戦の練習をする。</p> <p>（1）1対1のタスク練習</p> <p>・「カットイン」を使ってみよう。</p> <p>・相手の動きに惑わされないようしよう。</p> <p>（2）2対2のタスク練習</p> <p>・とばしパスを使ってみよう。</p> <p>・相手の動きを予想してタグを取ろう。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のめあてとは違って、対戦相手が変わることを音読することによって気づかせる。</li> <li>・作戦を考えるために、対戦相手が変わると、チームの作戦が変わるかどうかについて考え、発表させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの課題に合った練習ができるようにするために、前時までに行って来た3対3でのチームの課題を振り返ることを伝える。</li> <li>・前時のゲームで上手くいった動きを紹介することにより、その動きを意識して練習できるようにする。</li> <li>・個人の作戦「カットイン」「スワープ」「チェンジオブペース」を意識して練習させるために、図を使って練習前に確認する。また、上手な動きをしている子を賞賛する。</li> <li>・二人組練習で「とばしパス」「クロス攻撃」を習得させられるようにするために、どの作戦をやるのか事前に話し合いをして決めてから取り組むように助言する。</li> <li>・作戦を意識できるようにするために、黒板に作戦のイラストを掲示しておく。</li> <li>・練習に対する意欲を高めるために、チームにアドバイスをしている児童や肯定的な言葉がけをしている児童を賞賛する。</li> </ul>

1対1、2対2の練習の場の工夫



バスケットボールのコート半分を使う。攻め側は、守り側よりもタッチライン上の遠くの位置に目印のコーンを置く。  
ゴールラインの横をスタート位置として、それぞれコーンを置く。

<p>3 チームの課題と作戦について確認し、チーム練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足の速い人がいるから、ロングパス作戦はどうかな？</li> <li>・動きを確認しながらみんながロングパスをできるように練習をしよう。</li> <li>・守りが上手くいかないから守る場所を考えよう。</li> <li>・パスを上手く受けられないから、どこに動けばパスをもらえるか考えよう。</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻撃の作戦練習と、守りの作戦練習の時間を確保するために、時間を決めて練習することを伝える。</li> <li>・チームの特徴を生かした練習にするために、スタート位置を変えて練習して良いことを伝える。</li> <li>・チームの特徴を生かした作戦を意識した練習ができるようるために、良い練習をしているチームを取り上げて賞賛する。</li> <li>・前時のゲームでつかんだチームの特徴を元に作戦を立てる能够在するようチームごとに助言する。</li> <li>・作戦の動きをチームで共通理解できるようにするために、作戦ポートを利用することを伝える。</li> <li>・練習する時間を確保するために、話し合いの時間は2分以内で行うよう伝える。</li> <li>・話し合いが停滞しているチームには、有効だった作戦やよかつた動き、改善点などの話題を提示し、活発な話し合いができるようする。</li> <li>◎動きがつかめていないチームには指差ししながら良い動きを教えたり助言したりすることで、良い動きのイメージをつかむことができるようする。</li> <li>◎練習に進んで参加していない児童がいないようするために、全員が交代しながら練習に参加することを伝える。</li> </ul>
<p>4 3対3のゲームをする。</p> <p>(1) 前半チームの試合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習した作戦を生かせるようにしよう。</li> <li>・チームの作戦を成功させるために自分ができることは・・・</li> <li>・前向きな言葉がけをしよう。</li> <li>・記録をしっかり取れるようにしよう。</li> </ul>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーを守れる態度を身につけさせるために、ゲームの前後には挨拶をさせる。</li> <li>・ルールやマナーを守れる態度を身につけさせるために、子供同士のセルフジャッジで試合を進めるよう指示する。</li> <li>・ボールを触った回数、トライした回数を記録して次のゲームの話し合いに活用できるようにするために、試合に出ないチームは、チームカードに記録するよう伝える。</li> <li>・ゲームの中で作戦を生かせるようにするために、ゲームをしていない時もアドバイスを送ることを伝える。</li> </ul>

(2) 後半チームの試合 ・前半チームの上手くいっていた動きを真似してみよう。 ・今の点差から逆転してみせるぞ。	・チームの雰囲気を良くするために、前向きな声かけをしている児童を賞賛する。 ・全員のゲームする時間を確保するために、半分の時間でメンバー交換することを伝える。 ・セルフジャッジで判定が難しい場合は、ジャンケンで決めることを伝える。 ・ゲームをするための役割を自覚し、責任を持たせるためにゲームを見ている時も「記録者」「審判」「得点板」「応援」の役をやることを伝える。 ◇チームで考えた作戦を3対3のゲームの中で生かすことができる。【技能】(観察、学習カード)
--	---

### 3対3ゲームの長柄小オリジナルルールについて

- ① 4回タグで攻守交代。
- ② コートから出たら1タグ。
- ③ ボールを落としたら1タグ。
- ④ 守り側がファールをしたら、0タグにリセットして試合再開。
- ⑤ タグを取られたから3歩以上進んでしまったら、タグを取られた場所に戻って試合再開。
- ⑥ 4人がトライをしたらボーナス5点。

5 今日の学習について振り返る。	4	・うまくいった作戦や課題について全体で共有するために、感想を発表させる。 ・本時の授業の振り返りをするために、学習カードに記入して提出することを伝える。 ・次の作戦を考えるために一助となるようにするために、作戦がうまくいっていたチームや良い動きをしていた児童を紹介する。 ・次の時間からタグラグビーフェスティバルであることを伝え、意欲を高める。
------------------	---	---

## VI 授業資料について

資料①タグラグビーチームカード

資料②タグラグビーラグビーオリジナル作戦カード

資料③学習カード

資料④ラグビー作戦カード

資料⑤チーム編成について（丸秘）

資料⑥体育アンケート

資料⑦体育授業実態調査アンケート

資料⑧児童の意欲を高めるための学級通信

資料⑨タグラグビーオリジナル作戦カード（例）

資料⑩タグラグビーティーチャーズテキスト（日本ラグビーフットボール協会）

低・中・高学年の指導例

資料⑪誰でも簡単にできるタグラグビー資料（桑原和彦氏作成資料）

III 単元の目標、IV 評価基準及び指導の計画概要

### 单元名 「タグラグビー(ボール運動・ゴール型)」

直線元の目標マークの守備に苦戦つて頭を下して屈むし、マークで攻撃して競合し、高い音で叫んで喜んでいたり頗るにこなしておられることが出来る。	
四单元の評価基準	開心・意欲・態度
評価項目	思春・情熱・判断
①タグラッパーを失したため活動に自ら進んで取り組もうとする。 ②チームをするため積極的に活動をして、責任を負うとする。 ③ボールやマナーを守り、お互いのセルフジャッジを大切にしてゲームを楽しもうとする。	ボール運動の楽しきや遊びに醉れることが出来るよう、「温んで取り組む」とともに、ルールを守り駆け合って運動しようとしたり、運営する様や安全に気を配らうとしたりすることができる。 ①自分のチームに志したのでを立て、あたは達成のための工夫をしている。 ②作戦を成功させるための練習を改善したり、計画を見直したりすることで自分たちのチームの特徴と相手チームの特徴に応じた作戦を立てている。

週回	時間	ねらい	主な学習活動	支援・指導上の留意点		評価の観点	評価項目	努力を要する児童への具体的な支援
				団	個			
1	1	タグラグビーについて知り、タグラグビーが基本的な動き方に、複数回繰り返すことをする。(タグの準備の確認)	・オリエンテーション(チーム固め)・複数回繰り返す。(タグの準備の確認)	・自分の始めた運動について、考え方を確認させる。	・会心にタグラグビーが使えるように、タグベルトのつけ方を説明し、正しくベルトを着用できるようにする。	【個心・基礎・回復】	・タグベルトのサイズ調整を巡回しなくて済むように、毎回同じタグベルトを使い、取り組むことができる。(確認)	・タグベルトのサイズ調整を巡回しなくて済むように、毎回同じタグベルトを使い、取り組むことができる。
2	2	タグラグビーについてある場面運動をする。最後を残すように、手を握る動作を繰り返すようにする。	・タグラグビーについてある場面運動	・タグラグビーで、タグ取り負けたときに何をする。・タグを取ったときに何をする。	・タグラグビーの規則について説明し、何をするか理解する。・タグを取ったときに何をするか理解する。	【技術】	・タグラグビーで、タグを取り負けたときに何をする。・タグを取ったときに何をするか理解する。(確認)	・タグラグビーで、タグを取り負けたときに何をするか理解する。(確認)
3	3	1年1月のタスクゲームを通して、タグラグビーの得点の仕方について理解できるよ	・1年1月のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【個心・基礎・回復】	・タグラグビーの得点の仕方について知り、取られないよ	・タグラグビーの得点の仕方について知り、取られないよ
4	4	2年4月のタスクゲームを通して、タグ取り負けっこ、円陣バスなどをより多く学ぶ。	・1年1月のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【技術】	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)
5	5	3月9日のタスクゲームを通して、3人での状況の仕方ややり方について考える。	・3月9日のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【個心】	・3月11日で終了する前に、タグ取り負けっこ、円陣バスなどをより多く学ぶことにより、他の3人(以下の3人)と競争することを図る。・タグラグビーの得点の仕方について1年1月のタスクゲームをすることにより理解される。	・タグラグビーの得点の仕方について1年1月のタスクゲームをすることにより理解される。
6	6	3月9日のタスクゲームを通して、3人での状況の仕方ややり方について考える。	・3月9日のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【技術】	・3月11日で終了する前に、タグ取り負けっこ、円陣バスなどをより多く学ぶことにより、他の3人(以下の3人)と競争することを図る。	・タグラグビーの得点の仕方について1年1月のタスクゲームをすることにより理解される。
7	7	3月9日のタスクゲームを通して、3人での状況の仕方ややり方について考える。	・3月9日のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【思考】	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。
8	8	チームでの話し合いを通して、3月9日のタスクゲームができない。	・3月9日のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【技術】	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。
9	9	チームでの話し合いを通して、3月9日のタスクゲームができない。	・3月9日のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【技術】	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。
10	10	チームでの話し合いをして、3月9日のタスクゲームができない。	・3月9日のタスクゲーム(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	・複数回繰り返す。(タグ取り負けっこ、円陣バスなど)	【技術】	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。	・3月3の作業を立てやすくするために、作業が強制されるとよりチームでの作業が重要なことにつながる。
11	11	チーム対抗のリーグ戦をする。試合の運営を行う。	・チーム対抗のリーグ戦を行う。	・試合の運営を行う。	・試合の運営を行う。	【思考】	・試合の運営の仕方やルールなどが理解できている。・試合の運営を行っている。	・試合の運営の仕方やルールなどが理解できている。・試合の運営を行っている。
12	12	まとめ	これまでの活動を振り返り、自分たちの成長を見つめ、成長の運営を行う。	・これまでの活動を振り返り、自分たちの成長を見つめ、成長の運営を行う。	・これまでの活動を振り返り、自分たちの成長を見つめ、成長の運営を行う。	【技術・運動・感想】	・自分たちの成長を見つめ、成長の運営を行う。・自分たちの成長を見つめ、成長の運営を行う。	・自分たちの成長を見つめ、成長の運営を行う。・自分たちの成長を見つめ、成長の運営を行う。

# タグラグビー チームカード

【 】班 ( )月( )日 ( )曜日 ( )校時

1. チームの目標

2. 試合の記録

①→ボールを持って走った数 ②→トライした数

第1試合

番号	名前	①	②	チームの課題
合計得点		点		

第2試合

番号	名前	①	②	
合計得点		点		

3. 次への一歩 自分たちのチームの次の目標とそのための作戦を書こう！

## ラグビーオリジナル作戦カード②

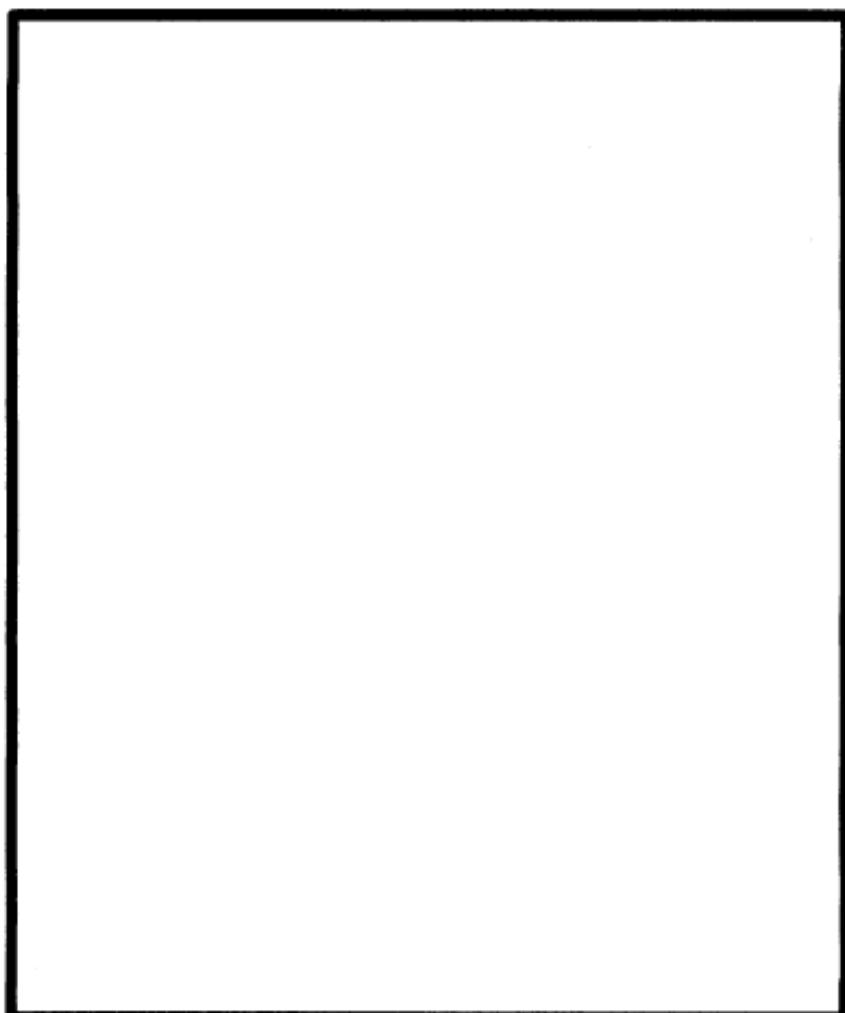
\_\_\_\_班　名前\_\_\_\_\_

世界に1つのオリジナル作戦を考えよう。(資料を参考にして作ろう)

攻撃編　　守り編　　←どちらかに○をつけよう。

1 作戦名

2 作戦の内容　　○…味方　●…敵　△…ボール



3 解説

タグラグビー学習カード

（班番号（ ）名前（ ）

◎、○、△で自己評価をしよう。毎回気づいたことを感想欄に書いておこう。

## ラグビー作戦カード

### 1 個人の作戦

(工夫した個人の動きの例)



カットイン



スワープ

できるよう助言した。



チェンジオブベース

### 2 攻め方・守り方のヒント



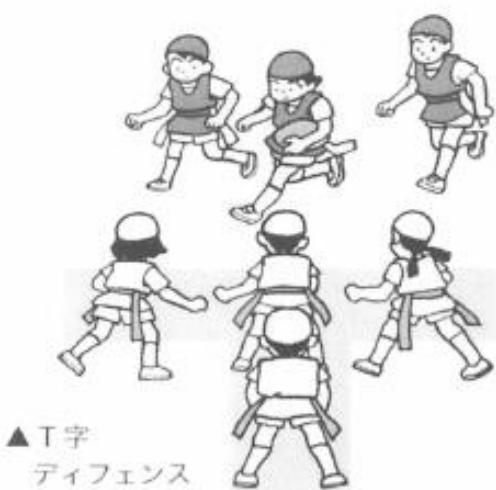
▲とばしバス



▲くるり攻撃



▲クロス攻撃



▲T字  
ディフェンス

体育 アンケート

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

①ボール運動は好きですか?

⑧体育の授業では、ルールやマナーを守って取り組んでいますか。  
はい いいえ

はい いいえ

その理由を書きましょう。

②サッカーやバスケットボールでは、ボールをよくさわる方ですか?

はい いいえ

はい いいえ

③サッカーやバスケットボールでは、得点をよく入れますか。

はい いいえ

はい いいえ

④体育の授業で作戦考へて、ゲームなどをしていますか。

はい いいえ

はい いいえ

⑤体育の授業で作戦考へることは好きですか。

はい いいえ

はい いいえ

⑥チームで考えた作戦が上手くいったことはありますか。

はい いいえ

⑦作戦が上手くいったときは、どんな気持ちでしたか。またどんな作戦でしたか。

## 低学年の指導例

	1時	2時	3時	4時	5時	6時
準備	準備する用具：タグ、タグベルト、ボール、ビーチ、マーカー、巻尺、タセツの袋、水筒、水筒、ラインをわかりやすくするためにマークをセット。					
00分						
05分						
10分						
15分						
20分						
25分						
30分						
35分						
40分						
45分						
あとからつけ						
<b>【タグゲーム】</b>						
・身だしなみ・タグのとり方・タグの返し方とともに、・ボールの両持ち・ボールを持った通り方	・タグをとられたら止まる・タグをとったら止まる・ボールを持てて待ってゴールまで走る					

イラスト：山田アツシ

【タグゲーム】  
・タグをとられる直前  
・タグをとられたら止まる・タグをとったら止まる・ボールを持てて待ってゴールまで走る

・身だしなみ・タグのとり方・タグの返し方とともに、・ボールの両持ち・ボールを持った通り方

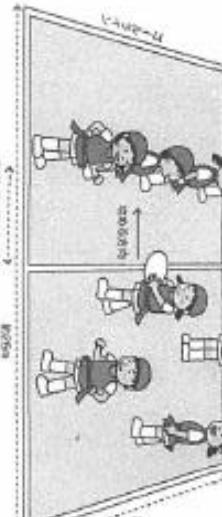
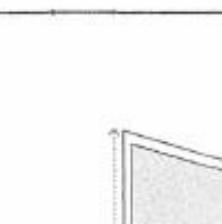
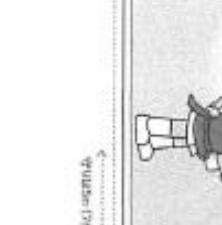
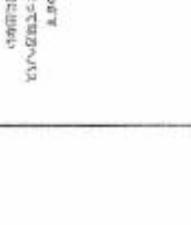
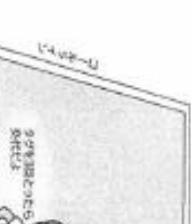
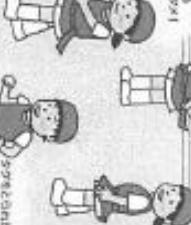
・ボールの投げ方・自転車式ボール操作

	1時	2時	3時	4時	5時	6時
準備	準備する用具：タグ、タグペレット、ボール、ピナス、マークヤード 準備すること：コートづくり（15m × 25m 球庭）、タグセットの準備、水分補給、ラインをわかりやすくするためにマーカーをセット	してもらよい。				
0分	休憩運動、あいさつ、今日の目標やねらいの確認、準備運動（トレーニング等）					
10分	■ タグとり戻し（チーム対抗） 合図でどちらかが先に走って、他のゴーイングに行くと勝ちとなる。 チームごとにタグをとり合う。 左右1本ずつ2本までとれる。 時間：5分間程度					
15分	■ ボールタグとり戻し 一人がボールを持ったまま、他の人がタグを取る。 人とのタグを取ることで逃がせる。					
20分	■ 三角ランニング（エリザベス） 3人で三角形を描いて走りながら、他の人のボールを拾って入る。 他のどちらかの人にタグをすると、 ボールを落とすと1点。 時間は、自分の得意とする タイムとする。					
25分	■ やさしいタグラグビーゲーム タグの回数に拘りなく、トライするまで続ける。 最初の回数1ハーフ5分。その後も5分。その後も5分。 タグを取った場合は、タグを取った方向に走り、 タグを失った場合は止めて立てる。 大体毎回で5分。					
30分	■ タグアンドランゲーム タグを取った人は、タグを取った方向に走り、 タグを取ったまま立てる。 タグを取ったまま立てる人は、立てるままに走り、 タグを取ったまま立てる。					
35分	■ タグアンドラン（タジマ） タグを取った人は、タグを取った方向に走り、 タグを取ったまま立てる。 タグを取ったまま立てる人は、立てるままに走り、 タグを取ったまま立てる。					
40分	休憩運動、評価・反省、あいさつ、休憩運動					
45分	あとがき					

基础的  
生物学

・タクをばらせるまで歩き、タクをとらえて歩くに至る。ホールは常に走りながら、相手のないスペースを走つて走る。ボーラーは握りこめない瞬間、ボーラーを持っていた腕が力で離れる。

高学年の指導例

	1時	2時	3時	4時	5時	6時	
準備	準備する用具：タグ（コード・タグ・ビーチ・マーク、ピラフ、マーカー、白いタグセッタの装備、水分散布、ラインやわらかややさしくするためにマーカーをセット						
0分	休憩確認、あいさつ、今日の目標やねらいの確認、準備確認（ストレッチ等）						
5分	■ 手つなぎタグとり（5秒間競争） 着手した相手のまは、自分の手で相手のタグを引き抜くと、身上でタグと言う。守りの人は自分の手を繩上にのせる。						
10分							
15分	■ 三角ラシング（バス） 3人で三角形を作り走りながら先頭の人が走った人が、他のどらかの人にバーストする。						
20分							
25分	■ やさしいタグラグビーゲーム タグの目的に固執なく、トライするまで続ける。 （ホーリモードしている人のタグをとらう） （タグをとたら即座に放つ） （タグをとらなければ走って前方へバス）						
30分							
35分							
40分	■ タグラグビー タグをとらずに、ボールをもってゴールラインを越えて戻ると、1点となる。 ・試合は、2m以内の壁に立つ様子に1点をもって始まる ・バスを走る人、ゴールを越して前へ走る ・タグを3回とられたら、その場所で吹笛交代する ・タグは、すべて5m（約）守りの人は下げる ・ボールが地面に転がった時は、どちらの皆が拾ってよい （どうも気にいった場合は、始めでいた他のボール） ・人にぶつかるのは絶対に禁止 ・タグをとりにくく人の手をほらつけてじゃますることも禁止						
45分	準備運動、評価・反省、あいさつ、休憩確認						
50分	あとからつけ						

基本的な指導

・タグとされる前のバースト・ボールを落とさないよう（約5m）  
・チームで工夫して守る・ボール操作やバーストを避けるための動き方

【ポイントとなる動作】  
・味方との距離を大切にする「ホールを持つている人にぶつかりさせないよう（約5m）」  
・相手との距離に気づける（新しいスペースに進むことを止めよう）  
・ゲーム中、みんなで同じ方向を向いてディスクプレイ（ファイト）